

# 令和2年度第2回始良市地域自立支援協議会 議事録

- 日 時： 令和2年9月17日（木） 午前10時00分から午後0時05分まで
- 場 所： 始良市役所本館2階大会議室
- 出席者： 始良市地域自立支援協議会委員  
出席委員数 20名  
(会議場出席委員 11名、インターネットを使用したウェブ会議システムによる出席9名)  
傍聴者1名  
事務局及び関係職員  
協同組合鹿児島みらい研究所

## 議事の経過の要領及びその結果

	<b>1 開会</b>
	○傍聴希望について 1名の傍聴希望がある。議決により承認する。
	○委員自己紹介及び事務局紹介 ○会議の成立について 委員22名のうち20名が出席、うちオンラインでの出席が9名。欠席2名。過半数が出席しているため始良市地域自立支援協議会要綱第6条第2項により会議が成立する旨を事務局より説明。
	<b>2 保健福祉部長あいさつ</b>
	一部の委員がウェブ会議システムによる参加となっている。不自由な面もあるが、重要な会議であることからこのような形で開催した。 始良市第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画を今年度策定する。障がい者施策に関する基本的事項の決定、成果目標等の設定をし、障がい者・障がい児が地域で安心して生活できる環境づくりに取り組みたいと考えている。 今日は、現行計画の進捗状況、アンケート調査の結果及び4つの部会からの活動報告を予定している。
	<b>3 議事録署名人選出</b>
	議事録署名人に、2名を指名。拍手による委員の了承を得る。
	<b>4 会長あいさつ</b>
	新型コロナウイルスや台風、総理大臣が変わるといった激動の半年が過ぎたが、無事で出席いただくことができ、何よりであると感じている。委員の活発な議論をお願いしたい。

	5 議事
	(1) 前期障がい福祉計画等の進捗状況
	事務局が資料2「第5期障がい福祉計画・第1期障がい児福祉計画の進捗状況」について説明。 質問・意見は以下のとおり。
委員	資料17 ページ「6 地域生活支援事業の整備状況」における地域活動支援センターの数値が「4」となっている。アシスト、大楠苑、サンヴィレッジ始良の3か所ではないかと思っているため内訳を教えてください。
事務局	内訳が分かる資料をこの場では持ち合わせていないが、〇〇委員の言う3か所の他にもう1か所契約しているところがあった。市外の事業所を入れていたかもしれない。調べて後ほど報告したい。
委員	質問があり回答もされたところであるが、内容が明確に伝わらない。司会者か議長がその都度発言内容を繰り返さないと、この形の会議では理解が困難である。このような形で委員が出席できるのは良いことだが、質問があったときに何についてのどのような質問であるか再び話してもらわないと発言内容がつかめない。
会長	〇〇委員の質問に対する調査を事務局が行う間、質問したいと思う。5ページ「保育所・認定こども園・放課後児童クラブ等における障がい児の受入れ」について、児童発達支援と放課後デイサービスの令和2年度の利用児数が、過去と比較して、増加している。これは、児童発達支援や放課後デイサービスを実施する事業所が増えたためと理解してよいか。
事務局	児童発達支援と放課後デイサービスの利用児数の増加については、事業所数も増えている状況もあり、年もしくは月ごとに利用児数が増加している状況である。
委員	3ページ「(3) 地域生活支援拠点等の整備」について、目標数値が「1」、実績（見込み）が「0」となっている。計画が開始してから年数が経過している中で「0」であり、理由は「24時間体制・緊急時対応の体制が難しいため」と書いてあるが、これは地域に社会資源が不足しているということだろうか。短期入所等で代用できるのではないかと思う。柔軟な考えでそういった機能の強化などに取り組めば、このような理由は書かないと思うがどうだろうか。相談支援部会など市の社会資源を理解している方を集めて検討をし、必要なもの・機能等を検討して、予算も含めて具体的な計画を立てて進めることをしないと、いつまでもこのような状況が続くことになると思う。 9ページ「(1) 理解促進研修・啓発事業」についても、広報活動、出前講座等の開催の目標数値は平成30年度～令和2年度が「3」「5」「7」となっているが、実績・見込みが「0」と書いてある。どのように見込みを立てたのか。「地域住民への働きかけを強化することにより共生社会の実現を図る事業です」と記載がある。共生社会は障がい者が生活するうえで、基本的に必要なシステムと考えている。目標が立てられているのに「0」のままでよいのだろうか。具体的に進めてほしい。

事務局	<p>3 ページ「(3) 地域生活支援拠点等の整備」については、障がい者の重度化や高齢化、親亡き後などの課題を踏まえたうえで、地域にある課題等を把握して皆が安心して過ごせるようにしていくために重要であると認識している。包括的な支援を提供できる体制の整備について、計画的に具体的に話し合いをするのかなど、進んでいないところである。計画的な対応をしていきたいと考えている。</p> <p>9 ページ「(1) 理解促進研修・啓発事業」については、出前講座を市全体で実施している。障がい者福祉や障がい者施策に関することなど、出前講座の準備はしているが、出前講座自体が待ちの姿勢という状況であった。積極的に市報等で広報し、講座ができるようにしていきたい。平成 29 年度は出前講座も実施することはあったが、その後できていないのが実情であり、講座の実施が図られるような体制づくりと啓発を行っていきたい。</p>
委員	<p>地域生活支援拠点等について、市には基幹相談支援センターが設置されているところ、どのような形の地域生活支援拠点を考えているか、それについて展望は持っているか。市単独、それとも始良・伊佐圏域でと考えているか。</p>
事務局	<p>現段階において、計画には記載しているが、設置に向けた協議や計画等は進められていないのが実情である。そこを反省したうえで、包括的な支援ということを踏まえて、今後計画していきたいと思う。</p>
委員	<p>現在は、市単独設置か圏域かといった構想もないということか。</p>
事務局	<p>そのとおりである。</p>
委員	<p>目標を「1」と設定した理由は何か。</p>
事務局	<p>圏域全体で考えて設定したようである。</p>
委員	<p>予算化はされているのか。</p>
事務局	<p>予算化はされていない。</p>
委員	<p>予算化されていないのに目標に書いていたという状態か。きちんとしたスケジュール管理をして、検討委員会等により構想をまとめ、具体的に進めることが大事だと思う。地域生活支援拠点というのは、共生社会の実現を図るインフラであると思うため、実現に向けた方向性を示してほしいと思っている。</p>
会長	<p>〇〇委員から要望があったため、事務局は検討をお願いしたい。</p>
事務局	<p>先ほどの〇〇委員の質問に対する回答を行いたい。地域活動支援センター4か所の内訳は、アシスト、サンヴィレッジ始良、大楠苑、そして、わかばである。始良市内の事業所である。</p>
委員	<p>17 ページ「4 障がい福祉サービスの整備の状況」について、始良市外の事業所について、契約がある事業所が含まれているのか。</p>
事務局	<p>始良市内の事業所のみとなっている。</p>
委員	<p>9 ページ「(1) 理解促進研修・啓発事業」の平成 28・29 年度の計画値は空欄になっているが、計画はあったのか。というのも、10 ページ「(3) 相談支援事業」などは、計画値は空欄だが実績値は記入されている。数値目標の設定の仕方について、実績を勘案した目標値の立て方が必要ではないかと思う。</p>
事務局	<p>9 ページの目標値が空欄の事業については、第4期計画において、計画値を掲載していなかったため、実績値を空欄としている。実績値を確認し記載したい。</p>

	(2) 障がい福祉計画及び障がい児福祉計画に関するアンケート結果（速報値）
	事務局が資料3「第6期始良市障がい福祉計画及び第2期障がい児福祉計画策定のためのアンケート調査報告書」により説明。 質問・意見は以下のとおり。
委員	平成27年4月から生活困窮者の支援制度が始まった。第6期障がい福祉計画の中に生活困窮者への支援について盛り込むことはできるのか。
会長	生活困窮者に関する調査項目があるか、また、今後計画に反映させることができるか。との質問である。〇〇委員が生活困窮者と言ったのは、障がいのある生活困窮者のことか。
委員	そのとおりである。
事務局	生活困窮者への対応を計画に盛り込むことについて、情報を精査したうえで盛り込むかどうかについて検討したい。
委員	6ページの18歳以上の障がい者の年齢分布をみると、65歳以上が64.4%になっている。障害者手帳所持者全体の年齢層と調査回答者の年齢層は合うのか、それとも違いがあるのか教えていただきたい。
事務局	今回の調査については、18歳以上の900人は無作為で抽出しているため、アンケートを送付した時点では、始良市の障がい者の年齢層に近い割合になっていると思う。仮に65歳以上の方が積極的に回答したというような場合において、65歳以上の方の割合が若干高くなるという可能性はあるが、大きな違いにはならないと思う。よって、始良市の障がい者の年齢層について、65歳以上の方の割合が高いと捉えて良いと思う。
会長	無作為でサンプリングしたとのことだが、例えば、30代から〇名、40代から〇名といった年代別のサンプリングはしていないか。
事務局	年齢区分別の抽出はしていない。ただし、全体からそのままランダムで抽出しているため、年齢区分別の抽出と大きな違いが出ることはない。
	(3) 各専門部会から報告
	ア 子ども部会 〇〇委員が報告。質問・意見は以下のとおり。
会長	一人ひとりの子どものファイルができるなど、わかりやすくなって良いと思う。医療的ケア児の幼稚園・保育園等での受入のハードルが高いと感じている。具体的にはどういう方向で今後進めるか教えていただきたい。
委員	昨年度、研修会を開催した。今年度も医療的ケア児について協議をしていくため、その中でどう進めるか決めていきたいと考えている。
会長	幼稚園・保育園等も不安に感じている部分もあると思うため、相談できる医療機関やスタッフ等の確保ができれば良いと思う。

	<p>イ 精神保健福祉部会</p> <p>〇〇委員が報告。質問・意見は以下のとおり。</p>
委員	<p>来年2月24日に成年後見制度の研修会を実施することのだが、コロナ禍で大人数での開催は難しく、受講者は限定されるのではないかと思ったところである。アンケート調査の結果をみると、成年後見制度が浸透してないことがわかる。県の手をつなぐ育成会では、成年後見制度に取り組んでいる。裁判所と交渉しながらようやく認可がおりたところで、難題はこれからである。研修の成果がわかるような計画の作成をお願いしたいと思う。</p>
会長	<p>〇〇委員は、主に知的なハンデを持つ方の担当であるが、精神保健福祉部会に合流して研修を受けたいと思っているか。</p>
委員	<p>できれば研修に参加したいと思っているが、コロナ禍で難しいかもしれない。状況を見てということにはなるかと思う。</p>
会長	<p>精神保健福祉部会で成年後見制度の研修実績を増やせるようにと〇〇委員から意見があった。将来コロナの問題が収まって少し枠が広がるようなら、知的なハンデを持つ方々の成年後見制度に関しても研修を受けたいという要望であったと思う。</p>
	<p>ウ 就労支援部会</p> <p>〇〇委員が報告。質問・意見は以下のとおり。</p>
会長	<p>初めて委員となった人もいるため、障害者優先調達推進法について簡単に説明してほしい。</p>
委員	<p>障害者就労施設、在宅就業障害者及び在宅就業支援団体の受注の機会を確保するために必要な事項等を定めることにより、障害者就労施設等が供給する物品等に対する需要の増進等を図り、もって障害者就労施設で就労する障害者、在宅就業障害者等の自立の促進に資するものということである。</p>
委員	<p>就労に関する支援について、商工会等との連携はしていないか。</p>
委員	<p>商工会との連携は今のところ行っていない。</p>
委員	<p>商工会会長等も就労支援部会に呼んで、一緒に対策を考えることも考えてみてはどうか。</p>
委員	<p>今、新型コロナの状況の中で、バザー等が中止になって販売の機会がないところである。就労支援部会で販路を開拓していただきありがたいと思っているところである。下請けの作業など増やしたいと思ってもなかなか探し方がわからずに困っているところであり、〇〇委員も言ったように、商工会と連携してもらえればありがたいと思う。</p>
会長	<p>要望があったように、商工会の関係者にまず理解していただいて、可能性を検討してもらおう。まずは理解を商工会の方にさせていただくということだと思う。</p>
委員	<p>優先調達推進については、今は官公庁を中心に考えているが、官公庁に限らず、企業にも理解してもらわないといけないと話しているため、そのような方向で進めていければよいと考えている。また、コロナの関係で、バザー等が少なくなっている状況もあるため、商工会等とはしっかりと話をし、連携先を見つけられるようにしていきたいと考えている。</p>

	<p>エ 相談支援部会</p> <p>〇〇委員が報告。質問・意見は以下のとおり。</p>
委員	<p>「2 部会から見えてきた始良市の課題」について、「新規で障害福祉サービス利用相談があった際に、計画相談事業所が手いっぱい状況で実際のサービス利用開始までの数か月を要することがある」と記載がある。実際にニーズのある方が相談支援をすぐに開始できない状況にあるのか。市内の障がい者が、例えば霧島市や鹿児島市に行ったら、すぐにサービス利用できたという事例もあるということか。</p>
委員	<p>そういった事例もあると聞いている。霧島市の、ある相談支援事業所は始良市と契約をしているという事情もあるが、霧島市の事業所に始良市民の相談対応をしてもらったというケースがある。このままではいけないとは思っているが、相談支援専門員の資格を持つ人がなかなか増えない、事業所が増えないことが課題であるため、掘り起こしの作業は行政とともに必要ではないかと思っている。具体的に進んではいないが、そういったことを考えていかなければならないという状況である。</p>
委員	<p>霧島市に受け入れてくれる相談支援事業所があって、始良市の事業所は手一杯の状況であるということだろうか。霧島市においては、事業所の運営がきちんとできていると考えてよいのか。霧島市と始良市の違いがあれば教えていただきたい。</p>
委員	<p>相談支援事業所が手一杯という状況は、全国各地でみられている。新たな事業所が開設された場合、その事業所に利用希望者が詰めかけてすぐに手一杯になってしまうという状況が繰り返されているようだ。今年の4月からは、制度改正により、モニタリングを実施しなければならない回数が増え、計画相談を提供していた方にその分頻繁に会わなければならなくなった。よって、責任をもって引き受けられる人数がさらに少なくなった状況にある。</p>
委員	<p>〇〇委員の報告に関連したことを申し上げたい。</p> <p>医療的ケア児のご家族がもし新型コロナウイルス感染症の陽性になった場合、対応をどうするかということについては、国から文書が出されているが、短期入所利用や医療機関への入院等の対応が考えられているところである。ご家族がどのような方法を選択するかについて、支援者の状況、体調やケアの内容、医療体制等を踏まえて、かかりつけ医・相談支援事業所・自治体と相談のうえで決定するようにとの指針が出ている。新型コロナウイルス感染症に関してどういった配慮が必要かなどについては、地域振興局に担当の職員がいるため相談に応じることができる。</p> <p>難病患者の災害時の避難支援について、要支援者の避難計画は市町村が作成することになっている。その人の状況に応じた個別性の高い計画を作成する必要があるため、一遍には立てられないが、難病の方が保健所で更新・新規申請するときは、必ず災害時の避難について尋ねており、計画策定が必要な場合には市町村と一緒に計画策定をさせていただきたいと考えているような状況である。</p>
会長	<p>始良伊佐地域振興局健康企画課の中に保健所はあるのか。</p>
委員	<p>始良伊佐地域振興局保健福祉環境部の中に保健所は属している。</p>
会長	<p>〇〇委員からの報告を受けた際、地域振興局との連携が気になっていたため、〇〇委員の説明があつてよかったと思う。</p> <p>就労継続支援事業所A型の離職が多いという報告があった。利用者の実態に応じた雇</p>

	<p>用関係、継続のための配慮・工夫等の研修が必要であるということだと思ふ。</p> <p>相談支援に関しては、マンパワーの不足や制度の変更による課題があるということ、希望者が早期にサービス利用が開始できるように検討していく必要があるということだと思ふ。</p>
委員	<p>就労継続支援事業所A型に関しては、今後事業所向けの研修を行う予定である。</p> <p>相談支援のマンパワーの問題は、すぐ解決できない問題でありながら、今まで何年も進展がなかったため、行政とともに具体的に進めていく必要があると思っている。</p>
	(4) 前回書面会議で出た意見について報告
	<p>資料5「令和2年度第1回始良市地域自立支援協議会意見」及び資料6・7「令和元年度始良市障害者虐待に関する報告」、当日配布資料「令和2年度第1回始良市地域自立支援協議会意見及び回答」により、事務局が説明。</p> <p>質問・意見は以下のとおり。</p>
会長	<p>教育委員会が小・中学校を対象にいじめについてアンケート調査を実施したようだが、障がいのある人に対する虐待に関する情報について、事務局に届けられているのか。</p>
事務局	<p>資料の21ページに記載されているように、令和元年度における基幹相談支援センターあいかへの相談件数が16件である。その他の詳細については資料を見ていただきたい。</p>
	6 その他
	<p>○次回会議開催予定について</p> <p>次回は11月19日(木)午前10時、開催場所として中央図書館1階を予定している旨を報告。</p> <p>次回会議開催について、〇〇委員より意見が示された。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 顔を見ながら会議ができるようにしてほしい。</li> <li>● 会議が2階であると階段を上るのが困難であるため、配慮してほしい。</li> </ul>
	7 閉会

令和2年度第2回始良市地域自立支援協議会風景

